２０２３年度

特定非営利活動法人かわうそ復活プロジェクト

総会　資料

2023 年 5 月 30 日　　当会 事務所

2022年度事業報告

2022年4月1日から　2023年3月31日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

１．特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行いました。

① 自然・環境学習事業

・定例観察会として、大洲城山周辺で毎月第２日曜日に観察会を継続的に開催しました。

・一般向けの勉強会としての「自然に学ぶつどい」は、新型コロナ感染症の拡大防止のため、中止しました。

・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動へ講師を派遣しました。支援先は、大洲市立肱川小学校，大洲市立河辺小学校，大洲市立平野中学校，大洲市立平野小学校，西予市立石城小学校，内子町立五十崎小学校，内子町立天神小学校，内子町立内子小学校，内子町立石畳小学校，内子町立内子中学校，内子町立内子幼稚園，八幡浜市立千丈小学校，久万高原町立美川中学校，松野町立松野東小学校，県立大洲農業高等学校，県立宇和高等学校など。

・地域で行われる観察会に講師を派遣しました。支援先は、大洲市役所肱川支所と西予市役所渓筋公民館、NPO法人西条自然学校、NPO法人内子未来づくりネットワーク、面河山岳博物館など。

・八幡浜市民スポーツセンターで11/12(土)に開催された「青少年のための科学の祭典」は、「千丈川水族館」と題し千丈川の魚たちを水槽で展示して解説しました。

・「愛媛の鳥図鑑 -水辺編-」の出版に向けての取り組みはできませんでした。

・八幡浜市役所で6/22(水)に行われた八幡浜市鳥獣被害防止対策協議会に出席して、「2022年 八幡浜市での哺乳類調査報告」と題して、イノシシの撮影頻度とニホンジカの北上について、お話しました。

②自然・公園管理事業

・平成23年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われ、その後の管理作業に協力しました。

③自然修復・再生事業

・身近な水環境一斉調査(全国水環境マップ実行委員会主催)に協力するかたちで、河川等の水質調査を行いました。

・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所肱川出張所と大洲農業高等学校に協力して行っており、経過を観察しました。

・既存の魚類調査を継続しつつ、「肱川中・下流上流の魚図鑑」作成に向けて、小田川を除く鹿野川ダムより下流の肱川で、県立長浜高等学校の水族館部の生徒さんと魚類調査をしました。

・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」で、環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、生物調査を実施しました。調査項目は、植物相，鳥類，チョウ類，ホタル類（以上ラインセンサス方式)，中・大型哺乳類（センサーカメラを使用)，人為的インパクト(植生図作成)の６項目です。

・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続します。また、八幡浜市のセンサーカメラ４台の運用を委託で受け、継続中です。

・北上しているニホンジカの個体群の動向の調査を、中・大型哺乳類のノウハウを利用して継続中です。

・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力しました。内容としては、水生昆虫の調査と、クマゼミの分布について調査を行いました。

・特定非営利活動法人 内子未来づくりネットワーク（うちみづネット）が行う水生昆虫の調査に協力し、「内子の川の生きものハンドブック」の編集を行い、出版に協力しました。

・「多田エコグループたんぽぽ」が行う水生昆虫の調査に協力し、「宇和町多田地区の川の生きものハンドブック」の編集を行い、出版に協力しました。

・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託を受け実施しました。調査項目は、鳥類，水生昆虫，カニかごでした。

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

（2022年4月1日～2023年3月31日）

特定非営利活動法人　かわうそ復活プロジェクト

科　　目	実　績	備　　考
Ⅰ　収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	44,440	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	0	
助成金申請事業1	0	三浦保「愛基金」:肱川上流の魚図鑑出版
助成金申請事業2	0	セブン-イレブンみどり基金
助成金申請事業3	0	愛媛銀行エバーグリーン
八幡浜市委託事業	99,990	センサーカメラ調査維持関連業務
調査委託事業	200,000	内子小田川調査業務
2 寄付金等収入		
寄付金収入（法人）	0	
寄付金収入（個人）	3,000	
3 雑収入		
受取利息	3	
当期収入合計（A）	347,433	
前期繰越収支差額	510,263	
収入合計（B）	857,696	
Ⅱ　支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	11,000	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	127,928	
助成金申請事業1	0	三浦保「愛基金」
助成金申請事業2	0	セブン-イレブンみどり基金
助成金申請事業3	0	愛媛銀行エバーグリーン
調査委託事業	100,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	12,000	
消耗品費	23,142	
図書費	0	
会議費	0	
運営費	89,404	
当期支出合計（C）	363,474	
当期収支差額（A）－（C）	-16,041	
次年度繰越収支差額（B）－（C）	494,222	

（単位：円）

2022年度の収支決算について監査したところ、会計帳簿、貯金通帳、現金、領収書等の処理が適正に行われていることを認めます。

2023年 5月 7日　　監査場所：法人事務所

会計監査　中田 博文

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2023年３月３１日現在

特定非営利活動法人　かわうそ復活プロジェクト

科　目・摘　要	金　額		
Ⅰ　資産の部			
１ 流動資産			
現金貯金			
現金 現金手許有額	−5,107		
普通預金 伊予銀行／八幡浜支店	499,329		
流動資産合計		494,222	
２ 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			494,222
Ⅱ　負債の部			
１ 流動負債			
流動負債合計		0	
２ 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			494,222

（単位：円）

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2023年３月３１日決算

特定非営利活動法人　かわうそ復活プロジェクト

科　目・摘　要	金　額		
Ⅰ　資産の部			
１ 流動資産			
現金貯金	494,222		
流動資産合計		494,222	
２ 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			494,222
Ⅱ　負債の部			
１ 流動負債			
流動負債合計		0	
２ 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		510,263	
当期正味財産増加額		−16,041	
正味財産合計			494,222
負債及び正味財産合計			494,222

（単位：円）

中期事業計画

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

①自然観察を行う際に名前を知ることは親しみをもつことに有効である。
地域（南予）のかたが身近な生きものを見分ける道具となる地域限定の図鑑を少しずつ整備していく。
②住民みずから生きもののにぎわいを実感することが必要である。
住民自らが、身近な自然を調べ、長期で見守るための手法を実地で行いながら学ぶ。

2023 年度事業計画（案）

2023 年 4 月 1 日から　2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

１．特定非営利活動に係る事業
以下の事業を行う。
① 自然・環境学習事業
・定例観察会（毎月）として、大洲城山周辺で、第２日曜日に観察会を継続して行います。
・一般市民向けの勉強会として、「自然に学ぶつどい」を実施します。
・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動の支援を行います。
・地域で行われる観察会に講師を派遣します。
・八幡浜市で開催される「青少年のための科学の祭典」に出展し、自然の不思議さ、大切さを普及します。
・特定非営利活動法人 内子未来づくりネットワーク（うちみづネット）と「多田エコグループたんぽぽ」が行う水辺の観察会に協力します。
・「愛媛の鳥図鑑 -水辺編-」の出版に向けて、写真の一次募集を行うとともに、解説の編集を行います。

②自然・公園管理事業
・行政関係からの公園等の保全に係る受託事業を受けられるように提案を行います。
・平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われました。その事業後の管理作業に協力します。

③自然修復・再生事業

・「身近な水環境一斉調査」に協力するかたちで、河川等の水質調査を行い、再生事業などに役立てます。なお、身近な水環境一斉調査は 2004 年の第一回から継続して参加しています。

・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所肱川出張所と大洲農業高校に協力して行っており、経過を観察します。

・河川工事における生物救出作戦を実施します。

・千丈川および喜木川・宮内川などの八幡浜市の河川の魚類の調査を継続して行います。また、小田川の魚類の調査についても継続します。

・「肱川中・下流の魚図鑑」の作成に向けて、肱川中下流の魚類の調査を継続します。調査範囲である肱川中下流は、小田川を除く鹿野川ダムより下流部とします。調査は県立長浜高等学校水族館部や岡山理科大学獣医学部生物部と協働で行います。また、ヒナイシドジョウについては、特定希少野生動植物捕獲等許可の申請を県にして許可を受けています。

・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」の生物調査を実施し、ノウハウの蓄積をします。環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、植物相，チョウ類，鳥類，中・大型哺乳類の調査項目について 2009 年から調査を継続中です。2013 年から、植生図(人為的インパクト)とホタル類の調査項目を追加しました。さらにノウハウの蓄積を行います。

・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続します。また、八幡浜市のセンサーカメラ４台の運用を委託で受け継続します。

・北上しているニホンジカの動向調査を継続します。

・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力します。主に、水生昆虫の調査のまとめと、クマゼミとエゾゼミのなかまの分布を調査します。

・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託があれば、継続して実施します。調査項目は、鳥類，水生昆虫類，カニかご。

2023年度　特定非営利活動に係る事業　予算案

2023年4月1日から　2024年3月31日まで）

特定非営利活動法人　かわうそ復活プロジェクト

科目	金額	備考
Ⅰ　収入の部		
１　事業収入		
自然・環境学習事業	20,000	
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	2,000	
助成金事業（三浦保愛基金）	490,000	「肱川中・下流の魚図鑑」の作成・配布　申請中
調査委託事業1	150,000	内子小田川調査業務
調査委託事業2	100,000	八幡浜市哺乳類調査
２　寄付金等収入		
寄付金収入	3,000	
３　雑収入		
受取利息	3	
当期収入合計（A）	767,003	
前期繰越	494,222	
収入合計	1,261,225	
Ⅱ　支出の部		
１　事業費		
自然・環境学習事業	20,000	学ぶつどい 等
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	50,000	
助成金事業（三浦保愛基金）	499,500	「肱川中・下流の魚図鑑」の作成・配布　申請中
調査委託事業1	120,000	内子小田川調査業務
２　管理費		
保険費	12,000	
消耗品費	20,000	
図書費	5,000	
会議費	5,000	
運営費	80,000	
３　予備費	447,725	
当期支出合計（B）	813,500	
当期収支差額（A）−（B）	−46,497	
当期支出合計	1,261,225	

（単位：円）